

【幼稚園教育の基本】 **生きる力の育成**

生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼児期の特性を踏まえ環境を通して行う教育

【県の教育理念】 **有徳の人の育成**

個人として自立し、人と関わり合いを大切にしながらよりよい社会づくりに参画する人材の育成

【市の教育理念】 **心ゆたかな人づくり**

～目指す子ども像：「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳」～

園目標 **げんきで なかよく がんばる子**

重点目標 **なかよく生活できる子**

<経営方針>

★温かさと活気にあふれ、豊かな学びのある幼稚園の実現を目指す

～アットホームで 温かい 浅西幼～

- 一人一人が安心して生活し、自分らしさを発揮できるように、子どもの発達過程や育ち、家庭環境を踏まえた保育に努める。
- 遊びを中心とした体験から多様な学びのある教育を実現する。
- 個と集団の育ち（協同性）を育む遊びを生み出す環境づくりに配慮する。
- 市の目指す15歳の姿「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳」を学園として共有しながら、架け橋期における一貫教育の質の向上を図る。

<教育課題（教師の願い）>

★生きる力の基礎を育む

なかよく

・生活や遊びのきまりの大切さに気付き、守りながら友達と仲良く遊べる子

がんばる

・遊びのイメージを豊かにしながら、自分の考えを伝え合い、夢中になって遊びをつくり出せる子
・壁を乗り越えようとする挑戦心のある子

げんき

・友達と一緒に心と体を動かして遊びを楽しむ子
・もりもりと給食を食べる子

<浅西幼教職員の心構え>

- ①子ども、保護者、地域住民、同僚に笑顔で接する
- ②子どもから学び、常に保育改善に取り組む
- ③子どもの想像力をかき立て、確かな成長を促す環境づくりを日々考え続ける
- ④互いの保育観を認め合い、高め合う
- ⑤働き方改革を推進させ、個々の幸福を追求していく



<保護者の願い>

- ・思いやりのあるやさしい子
- ・善悪の判断ができる子
- ・挑戦しようとする子
- ・自分で考えて行動する子
- ・友達と仲良くできる子
- ・どこでも物おじしない子

<具体方策・・・教育計画>

- ① **行事指導**・・・生活に潤いを持ち、豊かな心を育む
- ② **生活指導**・・・個人に必要な生活習慣や態度を身に付ける
- ③ **保健指導**・・・心身ともに健康な習慣を身に付ける
- ④ **飼育栽培指導**・・・親しみや愛情、感性の育成、及び、生命の大切さの体感
- ⑤ **食育、給食指導**・・・食事のマナー、健康な体づくりへの関心と感謝の心の育成
- ⑥ **特別支援**・・・理解と支援、および、温かな保護者指導
- ⑦ **浅羽学園**・・・「任せて認める」指導の実践、および、幼小連携の強化（1日体験研修）

<具体方策・・・保育指導>

- ① 年齢発達に即した教育課程の編成
・子どもの育ちにつながる指導計画の作成
- ② 豊かな遊びを通した学びの保障と実践
・子ども自ら遊び出したいくなる環境設定の工夫
・一人一人の学びや育ちを捉え、自分で考えて行動する力や諦めない気持ちを支える援助
- ③ 様々な感情体験を通して、お互いの思いや良さが伝わり合う友達関係づくり
・異年齢でのふれあいを意図的に設定

<地域保護者との連携>

- ① 「地域から愛される園」を目指す
・園外保育・・・二瀬公園、八面神社、浅羽西コミュニティセンター
・地域の人材活用・・・西コミ職員、西むつみ大学、野菜の先生、園サポーターズ活動
・近隣住民との心地よい関係づくり・・・焼き芋等の提供、騒音、消毒の早い周知
- ② 保護者から信頼される園となるよう、話し合いや活動を通して子どもの育ちへの理解を深められるようにする。
- ③ 開かれた幼稚園
・園運営協議会
・未就園児体験保育
・小中学生交流、教員交流

研修テーマ

『遊び大好き、友達大好き、幼稚園大好き浅西っ子』
～豊かな遊びを実現するための環境の再構成～

- ① 『豊かな遊び』を実現し、子どもの学びを保障するための環境援助の在り方
- ② 異年齢児保育や地域とのふれあい等、いろいろな人との関わりに焦点を当てた環境の在り方
- ③ 浅羽学園としての学びの接続を意識した保育の在り方

浅羽学園 教育目標 ～未来を拓く浅羽の人づくり～

「**こころざしをもち、共によりよく生き抜く**

たくましい子」の育成

自立（自立力）＝主体的な学び・基本的な習慣・夢や希望
共生（社会力）＝場に応じた礼節・よりよい人間関係・ふるさとや園、学校を愛する心
職員研修＝公開授業・分代会・講演会・アンケート実施